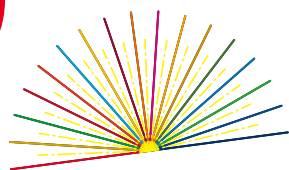


市制施行
30周年



みんなで まちづくり宣言

合言葉は、SDGs!



袖ヶ浦
市勢要覧
2021

みんなで まちづくり宣言

合言葉は、SDGs!

袖ケ浦市が目指すのは、

SDGsを新たな視点に、みんなが活躍し輝けるまち。

市民一人ひとりが思いや提案を言葉にし、みんなで宣言しましょう。

袖ケ浦市は市制施行30周年を迎え、新しいステージに進むとき。

小さなチャレンジが重なって、新しい袖ケ浦ができます。

“次の袖ケ浦は、みんなで作る”

市民の声がこだまする、活気溢れるまち、

誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

市民の皆様とともに未来を見据え 次の袖ケ浦に向けたまちづくりを

袖ケ浦市長

粕谷 智浩



袖ケ浦市は、令和3年4月1日に市制施行30周年を迎えました。

本市は、東京湾アクアラインの着岸地に近接した地理的特性を活かし、社会基盤と産業基盤の整備を進めるとともに、特色ある子育て施策や教育施策などを展開してきました。その結果、子育て世代を中心に多くの方々に移り住んでいただき、発展を続ける「住みたい」に応えられるまちとなっています。

令和2年度からスタートした総合計画では、本市が目指す将来の姿を「みんなで作る 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ケ浦」とし、その実現に向け各種施策を進めています。

この市勢要覧では、「次の袖ケ浦」に向けた各取組などを紹介していますので、ご一読いただき、ご理解を深めていただければ幸いです。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標」のことで、地球規模の問題・課題を解決するための17の目標を2030年までに全世界で達成しようというものです。袖ケ浦市は主要施策とSDGsの目標との関連性を明確にし、施策の推進を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

袖ケ浦
市勢要覧
2021

- 01 市長あいさつ
- 02 みんなでまちづくり宣言
- 03 袖ケ浦市のまちづくり宣言
- 05 1“誰もが活躍するまち”の実現
- 07 2“安心して暮らせるまち”の実現
- 09 3“人が集まる活気あるまち”の実現
- 13 わたしのまちづくり宣言
- 17 袖ケ浦アーカイブ

- 23 袖ケ浦市市制施行30周年
- 24 市議会のまちづくり宣言
- 25 そでがうらアンバサダー
- 27 袖ケ浦の史跡・文化・スポーツスポット
- 29 季節のおでかけカレンダー
- 30 イチ押しスポット・特産品紹介
- 31 データでみる袖ケ浦
- 33 発見!袖ケ浦の魅力

Looking to the Future Together with Citizens Community Development for the Next Sodegaura

April 1, 2021 marked 30 years since the establishment of the municipal system in Sodegaura City. Leveraging the geographical characteristics of proximity to the landing point of Tokyo Bay Aqua Line, Sodegaura has advanced the development of its social infrastructure and industrial base, while also deploying unique initiatives in the areas of child-rearing measures, education and so on. As a result, many people mostly belonging to the child-rearing generation have moved to Sodegaura, and the city continues to develop as a place where people “want to live.” Based on the master plan launched in fiscal 2020, we are advancing various measures geared to realization of our future vision of “Sodegaura – a city that nurtures peace of mind, where people gather and green nature sparkles.” This municipal handbook introduces various initiatives geared to “the next Sodegaura,” and I hope that its pages help you deepen your understanding of our city.

Tomohiro Kasuya Mayor, Sodegaura City

袖ヶ浦市の まちづくり宣言

Sodegaura City Community Development Declaration

Sodegaura City has compiled the Sodegaura City Master Plan as a guide for future community development to define the city's intended future vision and the measures for realizing that.

袖ヶ浦市は、今後のまちづくりの指針として、
本市が目指す将来の姿を明らかにするとともに、
これを実現する方策を示すため「袖ヶ浦市総合計画」を策定しました。

みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦

- 子育て・教育の充実、産業の活性化、交通アクセスや多様な地域資源など、本市の魅力を発揮することにより、「住みたいまち」「働きたいまち」「訪れたいまち」として人が集うまちを目指します。
- 豊かな自然環境と、都市機能や住みやすい生活環境とが調和した、緑が広がる美しいまちを目指します。
- 市民一人ひとりが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるまちを目指します。
- これらを実現するため、市民一人ひとりの個性や知恵、人のつながりを活かしながら、地域社会を構成する様々な主体が互いに協力する、みんなでつくるまちを目指します。

共通の視点 みんなで つくるまち

地域における人のつながりを深め、市民相互の交流による活力あふれるコミュニティを形成するとともに、市民・地域・事業者・行政など地域社会を構成する様々な主体が連携・協力しながら、みんなで力を合わせたまちづくりを進めます。

基本的視点1

誰もが
活躍するまち

将来の発展に向けて、今後の担い手となる人々を育むとともに、市民が知識・能力・経験等を十分に活かすことができる、誰もが活躍するまちづくりを進めます。

基本的視点2

安心して
暮らせるまち

すべての市民が健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

基本的視点3

人が集まる
活気あるまち

市民生活や各産業における多様な波及効果を創出し、人が集まる活気あるまちづくりを進めます。

基本的視点に対応し、効果的・分野横断的に取り組む「重点的取組」

取り組むべきテーマと施策の方向性

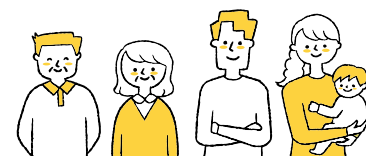
① “誰もが活躍するまち”の 実現

子育て・教育環境の充実

幼児教育・保育サービスの充実／
生きる力を育む学校教育の推進／
青少年健全育成の推進

社会参加の促進

生涯学習の充実／高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進／地域活動の活性化



② “安心して暮らせるまち”の 実現

災害や犯罪・事故等の対策強化

防災対策の強化／防犯対策の推進／
交通安全の推進

暮らしやすい生活環境の確保

自然環境の保全と共生／市内における移動手段確保

健康づくり・福祉サービスの充実

健康づくりの推進／地域福祉の推進／
住み慣れた地域での生活支援／障がいのある人の自立生活支援の推進

③ “人が集まる活気あるまち”の 実現

快適なまちづくり

計画的なまちづくりの推進／都市計画道路の整備／都市間交通の利便性確保

産業競争力の強化

活力ある商業の推進／力強い工業の推進／雇用の促進

交流人口の増加

スポーツツーリズムの推進／農業とふれあう機会の拡大／観光地としての魅力づくり／シティプロモーションの展開

子どもの未来に 学びたくなる環境を

袖ヶ浦市は、子育て・教育環境の充実を掲げ、子どもが意欲的に学ぶ環境を整え、子ども達の「生きる力」を育み健全な成長を促します。また、人々が地域社会とつながり、交流し、いきいきと暮らせるための取組みを推進しています。

1. Realizing a "City where Everybody has a Role to play" Giving our Children an Environment for Active Learning for their Future

Aiming to enhance the child-rearing and education environment, Sodegaura City is building an environment where children can learn actively while nurturing “vitality” and enjoying sound growth. Moreover, we are promoting initiatives so that people can connect to and interact with the local community and live with vigor.

子育て・教育環境の充実



高まる幼児教育・保育ニーズに対応するため、認定こども園1カ所、幼稚園3カ所、保育所13カ所、小規模保育事業所5カ所、家庭的保育事業所1カ所、事業所内保育事業所1カ所（令和4年1月現在）でサービスを提供しています。また、専門の保育士による育児に関する悩み相談や親同士の交流、親子が安心して遊べる場として「そでがうらこども館」をはじめ、市内6カ所で子育て支援センターを開設しています。



そでがうらこども館

令和4年4月に
保育園を
1カ所新設予定

平成3年の市制施行と同時に読書教育を推進し、「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施しています。全国展では、令和2年度まで、優秀賞以上の入賞数で21年連続して全国一を達成。文部科学大臣賞をはじめ、素晴らしい成績を収め、市内の小・中学校全体の児童・生徒の学習意欲を高めることに繋がっています。また、小中学校には市独自学校職員を配置。基礎学力向上支援教員や特別支援教員、児童支援員、学校司書、スクールカウンセラー、心の相談員、事務補助員、ALT（外国語指導助手）がその職にあっています。学校ICTインストラクターによるICT授業支援も行っています。学力向上のみならず、誰一人として取り残さない体制を整え、学ぶ権利も重視しています。

学校司書と生徒

学校司書のいる
温かい学校図書館の
実現



一人ひとりが地域で
活躍できる環境づくりを
支援します



子どもスポーツ大会

子どもたちが安心して過ごすことができる社会環境づくりを推進しています。地域で活動する青少年相談員や子ども会育成会が中心となりドッジボールやグラウンドゴルフなどの種目による子どもスポーツ大会を開催しています。また、袖ヶ浦公園にてウォークラリーを行うふれあいフェスティバルも開催しています。市内全域から多くの小学生が参加し、普段では触れ合えない他校の児童との交流が図られています。

社会参加の促進



市民の自主的・主体的活動を推進するとともに、誰もが地域との関わりを持ちながらいきいきと暮らしていくために、地域の自治会や市民活動団体等の活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。また、市民と行政が協働で、地域の活性化や地域課題の解決に取り組むことができるよう、支援や仕組みづくりを行っています。



合同祭礼

市民生活を守り すべての市民が 健やかに生活できる環境を

災害や犯罪等から市民生活を守るとともに、豊かな自然の継承や良好な生活環境の整備を進め、また、あらゆる年代が健やかに生活できる健康づくりや福祉サービスの充実を図ります。

2. Realizing a “City where People Live with Peace of Mind” Protecting the lives of citizens and creating an environment where all people can live healthily

In addition to protecting citizens from disasters and crime, we aim to preserve our abundant nature and build a quality living environment. We also strive for better health-promotion and welfare services so that people of all age groups can live healthy.

災害や犯罪・事故等の対策強化



災害時に適切な情報発信を行うため、防災行政無線の適切な管理を行うとともに、備蓄物資や防災資機材の充足を図り、防災対策の強化を推進しています。県が示す浸水想定区域図を踏まえて、洪水防災マップの見直しを行うとともに、各種防災教育の推進を通して、市民の防災意識の高揚を図ります。



令和元年房総半島台風（平川公民館で支援物資を配布する様子）

過去の
経験を活かして
備えを強化します



ボランティア等により
地域で里山の保全が
行われています



しいのもりボランティア作業

移動手段をもたない
高齢者の支援等に
取り組んでいます

健康づくり・福祉サービスの充実



市民が健康にいきいきと暮らせるよう、袖ヶ浦健康づくり支援センター（ガウランド）を活用した健康づくり支援や、健康相談、市民の健康への意識醸成等に取り組んでいます。また、市民の誰もがいくつになっても、地域で支え合いながら、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、支え合いの仕組みづくりや介護施設の整備、自立した生活を送るために必要な各種サービスが一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築や相談支援体制の充実を図っています。さらに、高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して生活を続けられるよう、車がなく、駅やバス停までの移動が困難な高齢者の日常生活に必要な移動手段の確保と経済的負担の軽減を図るため、一定の要件を満たす高齢者にタクシー券を交付し、タクシーを利用した際の料金の全部または一部を助成することで、移動手段をもたない高齢者の支援に取り組んでいます。

幼児から高齢者まで
一貫した交通安全教育を
実施しています

交通安全に対する市民意識の高揚を目指して、幼児から高齢者までの幅広い年代に、交通安全教育を実施しています。また、防犯意識の高揚や自主防犯組織の設立促進のPRを行うことで、市民、行政、警察が一体となり、地域ぐるみで交通安全対策と防犯活動を推進しています。



交通安全教室（中川幼稚園）



タクシー券を利用する高齢者

「住みたい」に応えられるまち 活気あふれるまちを

袖ケ浦市が有する強みや地域の特性を活かした快適なまちづくりを進めます。
また、産業の活性化や観光振興など産業競争力の強化を図り、交流人口の増加につなげることで、活気あふれるまちづくりを進めます。

3. Realizing a “Vibrant City where People Gather” Building a vibrant city where people “want to live”

We will utilize the strengths and local characteristics of Sodegaura City to build the pleasant community. Moreover, boosting industrial competitiveness, including industries and tourism, we will increase the nonresident population and promote vibrant community development.

快適なまちづくり

市では、地域特性に応じた拠点の形成を図るとともに、それらを道路や交通ネットワークで結ぶことで、利便性が高くまとまりのある都市づくりを推進することとしているほか、本市の産業資源を活かした都市づくりや誰もが安全・安心で快適に暮らせる居住環境の形成に重点を置いて、計画的なまちづくりを推進しています。



袖ケ浦駅海側地区近隣公園

自然環境と調和した
秩序あるまちづくりを
計画的に
推進しています

アクアライン高速バスのネットワークが充実し、都心へのアクセスがよい袖ケ浦。袖ケ浦バスターミナルからは、東京、品川、新宿、渋谷、横浜、川崎、羽田空港への直通バスが毎日運行しています。例えば、品川駅へは最短で44分。上りは1日49便もあり、朝夕の時間帯は5～10分間隔で運行しています。帰宅が遅くなっても、品川駅発の最終バスは23時台まであるので安心。都心方面へ多くの方が高速バスで通勤・通学していますが、そのメリットは電車と違い確実に座れること。Wi-Fi環境が整った車内で、読書やメールチェックをしながらゆったりとした通勤・通学ができます。

快適な高速バス通勤・通学



確実に座れて
ゆったり快適な
高速バス通勤・通学



内陸部の袖ケ浦椎の森工業団地

産業競争力の強化

本市の臨海部に立地するコンビナートは市の産業の根幹を支えており、内陸部の袖ケ浦椎の森工業団地には多種多様な企業が立地し、雇用や税収面に大きく貢献しています。一方、多くの中小・小規模企業も立地し、様々な分野で地域産業を支えています。市では、市内に立地する企業が事業活動しやすい環境整備を進め、袖ケ浦市に立地する価値を高めていきます。

立地企業のニーズや課題を把握し
市内企業との
ネットワークの強化を図ります



京葉工業地帯の一翼を担う臨海部

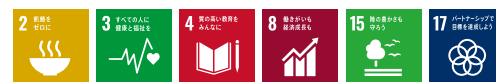
袖ケ浦駅海側に
開業した商業施設は
多くのお客さんで
にぎわっています



市内では、飲食店やサービス業などを営む様々な個店において、地元に着しそれぞれ商品やサービスなどを提供しており、袖ケ浦駅前では大型スーパーやフィットネスクラブなどで構成される商業施設やホテル、マンションなどの施設が集積し、新たなにぎわいの場として機能しています。これら個店で構成される商店会の環境整備や、各種団体が行うイベントなどの活動を支援し、商業の魅力向上を図ります。また、商工会を中心に、市内商業者のネットワークを広げ、にぎわいと交流の創出に取り組みます。

ゆりまち袖ケ浦駅前モール

交流人口の増加



袖ケ浦市は、肥沃な農地と温暖な気候に恵まれ、農業に適した環境があります。台地では多品目で新鮮な野菜が生産され、田園地帯は早場米が生産されているほか、酪農や養鶏などの畜産も盛んな土地柄です。市内で生産された野菜や果物、花などを中心に販売する農畜産物直売所「ゆりの里」では、生産者のPR販売やイベントが開催され、市民だけでなく市外からも多くのお客様で賑わい、地産地消や食育活動の拠点施設となっています。



袖ケ浦市農畜産物直売所「ゆりの里」

「ゆりの里」では、
市内の新鮮な農畜産物を
買うことができます

袖ケ浦市は首都圏からの交通アクセスに恵まれ、自然が豊かな里山やのどかな田園風景があり、一年を通して楽しめる味覚狩り・収穫体験など都会では味わえない大きな魅力を持っています。味覚狩りや収穫体験などを通して、農家と都市住民の交流を図るとともに、農と食のつながりを感じてもらい、農業の持つ多様な価値、地域農業継続の必要性などについて考えるきっかけ作りに取り組んでいます。

一年を通して
味覚狩り・収穫体験が
楽しめます

芋掘り体験をする様子



「見る・採る・食べる」を
体験できる場所が、
袖ケ浦市には
たくさんあります

スポーツ活動や
イベントを通じて
地域を活性化



プロ野球イースタン・リーグ公式戦

高い知名度と集客力を誇る東京ドイツ村、富士山を見渡せる袖ケ浦海浜公園や田園・里山の美しい景観、新鮮な地元農畜産物を販売する直売所、家族で楽しめる観光農園など、本市には多様な観光資源があり、また、東京湾アクアラインや圏央道等による交通アクセスに優れています。これらの豊かな地域資源と、立地の優位性について観光地としての魅力を発信するとともに、地域の回遊を促し、地元での消費活性化や交流人口の増加につながる取組を推進していきます。



観光ガイドマップ



袖ケ浦海浜公園内のプロムナード

「観るスポーツ」「するスポーツ」など、スポーツを通じた交流人口の増加を図り、地域活性化につなげる「スポーツツーリズム」を推進するため、野球・サッカー等の公式戦誘致、各種スポーツ大会誘致、スポーツ合宿誘致に取り組んでいます。また、定住人口や交流人口を増やし、将来にわたって地域を持続的に発展させるための手段の一つとして、シティプロモーションを推進しています。まずは、袖ケ浦市を知ってもらうこと、そして関心や興味を抱いてもらうこと、さらに、好きになってもらうという段階を踏み、「袖ケ浦市」を“遊ぶ・買う・働く・住む”対象として選んでもらうことを目指し、ホームページ・各種メディアを活用した情報発信などに取り組んでいます。



やさしい助け合いのできる
まちを実現させたい

溝口 佳子 さん

ガウラこども食堂 代表

2018年9月からガウラこども食堂の活動をはじめ、これまで多くの子どもや地域住民の方が参加しています。現在は、食支援が必要な家庭に袖ケ浦市民会館と長浦公民館でお弁当を配布しています。困っている方の生の声を聞く機会がありますが、皆さんのお腹と心を少しでも満たせたらというのが私たちの願いです。お互いが自立した立場で助け合う相互依存のまちを実現させたいと思います。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

袖ケ浦市には、SDGsに取り組んでいる多くの人がいます。17の目標に向けて力強い宣言を掲げ、活動している人の思いに注目しました。

Our Community Development Declaration
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

There are many people in Sodegaura City who are engaged in SDGs.
We focus on people who have made bold declarations and are working towards the 17 goals.vibrant community development.

わたしの まちづくり宣言



コミュニティとつながれば、
農業の可能性は無量大!

阿部 慎伸 さん

BOB FARM WORKS 代表



農業をやろうと、いろいろな地域を検討したなかで、袖ケ浦に決めました。土地と人という両方の良さに恵まれていたからです。夏はナスやズッキーニ、トウモロコシを、冬はレタスやキャベツを育てています。新しい野菜にも挑戦していて、観光農園などで多くの人と交流できる形をつくれたらいいですね。地域とのつながりを活かし、アイデアで農業のスタイルを変えていきたいと思っています。



誰もが住みやすい袖ケ浦を
目指していきたい

小曾根 好子 さん

さわやかネット蔵波台 会員

さわやかネット蔵波台は、地域の高齢者、学童への支援と地域パトロール、それと美化活動を中心に活動中です。生活支援の依頼が年間50~70件、美化・パトロール活動は週2回活動しています。高齢者の生活支援で皆さんの健康向上に寄与し、毎日の登下校時の見守りを通じて安心安全なまちづくりに役立ちたいと思います。働く人だけでなく、高齢者から子どもまで誰もが住みやすい袖ケ浦を目指しています。



本に親しみ未来を切り拓く力を
身につけてほしい

松井 恭子 さん

昭和中学校 学校司書



中学校で発達段階に沿った図書を提供し、学習を支援しています。「図書館を使った調べる学習コンクール」の取り組みも長年継続し、成果を上げています。本を読むことは学びの基盤となる力を養い、豊かな人間性を育みます。子どもたちが本に親しみ、未来を切り拓く力を身につけてほしいと願います。多くの人が生涯にわたり学び続けることがよりよいまちづくりにつながると考えます。

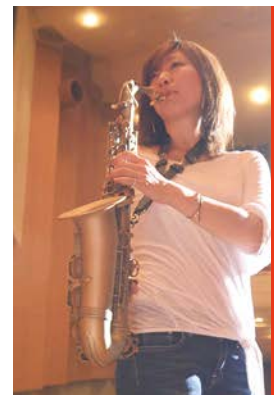


地域が世界に誇る
エコな技術を伝承したい



藤代 かおる さん
矢野 久登 さん
宮下 二郎 さん

上総掘り技術伝承研究会



上総掘りの技術は、少ない資材とシンプルな工程で、電力や重機を使用せず少人数で深井戸を掘ることができます。そのため、水に苦しむ途上国や国内の災害用の井戸として、技術を活かすことができます。また多くの資材は、木や縄、竹などの土に還る素材を活用したエコな技術でもあります。今後も、上総発祥の世界に誇れる民俗技術を守り、伝えていくことが私たちの使命です。



左から藤代さん、矢野さん、宮下さん



音楽はジェンダー平等を
叶える表現の1つです

WaKaNa さん

プロサックスプレイヤー

私が主に演奏する音楽は、歌のない「インストゥルメンタル」で、サックスでメロディを演奏します。この音楽のよいところは国籍も言語も関係なく自分を表現できることです。もちろん性別も関係ありません。音楽や文化芸術など、年齢や性別を問わず、どなたでも参加しやすく、様々な表現のできる場がもっと増えることで、より住みやすい袖ケ浦になると思います。

環境メリットの高い
都市ガスの理解を深めたい

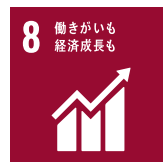
佐藤 智明 さん・宮内 香 さん

東京ガス(株)



天然ガスは化石燃料の中で、最も二酸化炭素の排出が少ないエネルギーです。ガス導管は地中に埋められているため、自然災害等にも強く、安定供給も可能です。都市ガスの環境メリットの理解によって、利用地域や施設が増えることで、良い環境づくりにつながると考えます。創業者・渋沢栄一の「公益追求に対する志」の理念を基に、持続可能な社会の実現に貢献したいと思っています。

袖ケ浦から何かを
生み出せる環境を整えています



星野 宏彰 さん

GAULAB(ガウラボ)

東京と袖ケ浦を行き来しながら、地方から何かを始めたい、最初の一步を踏み出してみたいと思う人たちが集まる実験室のような場所になるべく奈良輪でコワーキングスペース「ガウラボ」を運営しています。住む、働く場所に対してより多くの選択肢が持てるようになる中、立地条件に優れ、自然豊かな袖ケ浦で、皆が自分らしく豊かに暮らせる社会になればと思っています。



わたしのまちづくり宣言



廃プラや気候変動に向けて 社会に提案する製品を



市川 太郎さん

三井化学(株) 袖ヶ浦センター

袖ヶ浦と東京本社を行き来しながら不織布の製品開発に取り組んでいます。袖ヶ浦センターは新素材・新技術を創出する研究開発拠点で、未来のよりよい暮らしをつくる素材や技術がここ袖ヶ浦で生まれています。今後も自社と社外の技術をうまく結びつけ、今までにない製品をつくりたいと思います。特に廃プラ問題や気候変動に対して、具体的な形で社会に提案するのが目標です。

一人ひとりの人権が大切にされ お互いを思いやれる存在に



井上 久子さん

袖ヶ浦市人権擁護委員

人権問題解決のお手伝いや人権の啓発活動をしています。啓発活動は、市内小学校での人権教室や小中学生による人権ポスター原画コンテストの募集などです。幼い頃から人権意識について学ぶことが大事です。一人ひとりの人権が大切にされることで私たちの生活は豊かになります。老いも若きもいきいきと活動し、お互いを思いやれる存在であってほしいと思います。



都心に近く景観に優れた袖ヶ浦、 魅力を最大化するまちづくりを



赤川 稔さん

袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会委員

土木技術者として袖ヶ浦の臨海部や幕張新都心の開発に携わりました。現在は袖ヶ浦の地域交通についての協議会に参加しています。これからの持続可能なまちづくりは、時代の変化に柔軟に対応する必要があります。袖ヶ浦は都市と農村の両面があり、デュアルライフが実現できるまち。都心に近い利便性や優れた景観など、市の特性を活かしたまちづくりを期待しています。



作り手と消費者に責任を持った 選択をしてほしい



長瀬 美紀さん

市民団体SODEGAURA's結びと守りの会
平岡公民館社会教育推進員

イベントでのリサイクル活動などを通してSDGsの達成に向け取り組んでいます。活動によって、多くの皆さんに限られた資源を有効に利用し、購入から処分まで消費者としての責任感を持ってもらえたらと思います。生産者も消費者も持続可能性を第一に考えられる地域経済が理想です。今後はSDGsについて考える場や学び合う機会をつくっていききたいと思います。



岡本 和幸さん

上総自然学校 代表
曹洞宗瓦谷山真光寺住職

寺周辺の里山再生活動に取り組み、様々な自然体験イベントを開催しています。棚田の保全や森林整備は重要な活動の1つで、これらは大雨災害に対し有効なセーフティガードと言われています。特に森林の健全化は、保水能力の向上に寄与します。今後も自然学校の活動フィールドを利用して、気候変動や環境保護など重要なテーマを学ぶ機会を提供したいと思います。



里山で環境保護を学び、 実行する場を提供したい



事業を通じて環境負荷低減などの 社会課題の解決に挑戦します

水元 浩さん

住友化学(株) 千葉工場

当社は銅の精錬の際に発生する排出ガスから肥料を製造することを起源とする会社であり、環境負荷低減等の社会課題に対する事業を通じた解決に挑戦しています。当工場では、工場排水の浄化を徹底し、水質を維持・向上することに加えて、使用量の削減にも取り組み、水環境の保全に努めています。今後も持続可能な社会の実現に向けて当社の技術力を活かしていきます。



貴重な生態系を守り、 市民の憩いの場にしたい



赤松 義雄さん

椎の森里山会 広報担当

椎の森工業団地の裏手に広がる自然環境保全緑地「しいのもり」の保全活動をしています。20代から80代までのボランティアが、里山の生物多様性維持のため下草刈りなどを行い、トウキョウサンショウウオやヤマユリなどの動植物の保全に努めています。里山の美しい山野草と貴重な生態系を守り、市民が身近な自然と触れ合える憩いの場所にしたいというのが私たちの願いです。



地域の皆さんに笑顔が生まれ 元気の源に



向井 夏詩さん

千葉県立袖ヶ浦高等学校 吹奏楽部顧問

吹奏楽部は文化祭やコンクールに参加する以外に、地域からの要請をいただき福祉施設やイベントで演奏することもあります。演奏で何らかの地域貢献ができれば、大きなやりがいと誇りにつながります。地域の方々と触れ合うことで、生徒一人ひとりが成長していくよい機会になっています。演奏活動を通じて地域の皆さんに笑顔が生まれ、元気の源になってほしいと思います。



地域が連携して、 安全・安心な暮らしを目指したい

土屋 新治さん・溝田 隆さん

鹿島区自主防犯パトロール隊

私たちは、鹿島区で作る自主防犯組織で、地域住民の仲間と定期的に地区内の防犯パトロールを実施しています。地域でのあいさつや声掛けなどのコミュニケーションは、犯罪を防止する観点からとても重要です。多くの市民が防犯意識を持ってそれぞれ活動し、地域全体で当たり前のように防犯意識が高まることで、安全安心なまちの実現につながればと思います。





袖ヶ浦アーカイブ



約3万年前の旧石器時代から人が暮らしていたことがわかっている袖ヶ浦。
人々の営みの歴史を振り返り、この地で育まれた文化や風習をたどります。
さらに市制施行からの30年の歴史をフィーチャー。
今日の袖ヶ浦市として発展してきたハイライトに迫ります。

Part.1 旧石器時代～昭和時代

約3万年前～1990年

It is known that people have lived in Sodegaura for almost 30,000 years since the Paleolithic Period. The archives trace the history of human activity and show the culture and customs that have been cultivated in the local area.

There is also a special feature on the 30-year history of the municipal administration. This sheds light on how Sodegaura has developed into its current form today.

Part.2 袖ヶ浦市になってから 1991年～2022年



旧石器時代～江戸時代

国史跡・山野貝塚は、縄文時代の文化交流を物語る宝箱
古東海道、鎌倉街道、房総往還…
通り過ぎた人びとの足跡を紡ぐ

自然に恵まれた袖ヶ浦の地は、古来より多くの人が暮らし、行きかう場所でした。縄文時代の遺跡・山野貝塚では、東北等の遠方との交流を示す土器が出土しています。古代には望陀（もうだ＝馬来田）と呼ばれ、各時代で古東海道等の主要な道路が通り、陸の道や海の道が交差したこの地は、たくさんの豊かな歴史であふれています。

旧石器時代～縄文時代

豊かな海と大地の恵みを受けて
氷河期だった旧石器時代から、袖ヶ浦には人が住んでいましたが、気候が温暖になった縄文時代には、さらに多くの人が暮らすようになっていました。市内では、東京湾東岸南部の拠点集落だった飯富の山野貝塚をはじめ、遺跡が多く発見されています。



弥生時代

人口増加と大規模集落の広がり
弥生時代の終わりから、袖ヶ浦周辺には多くの人が移住し、人口が爆発的に増加しました。当時の大きなムラの形として、周囲を深い濠（ほり）で囲んだ環濠集落というものがありますが、根形の台地上や久保田等、袖ヶ浦の各地で確認されています。



古墳時代

豪族の力の証 残された多くの古墳
市内には濠の口や大竹など小櫃川流域の丘陵上を中心に、多くの古墳が残っています。大型の前方後円墳や副葬品の優れた古墳も多く、一帯を支配した馬来田国造一族との関係が考えられます。

小銅鐸を持つムラ 水神下遺跡・文脇遺跡

袖ヶ浦駅北口の水神下遺跡では、小銅鐸・銅鏡・石製垂飾品が同じ場所から発見されました。祭祀用具である小銅鐸が出土することは、その地が重要な場所であった証拠で、市内では文脇遺跡（野里・上泉）でも見つかっています。



古代望陀郡の特産品 望陀布

望陀布は、古代の袖ヶ浦周辺から税として納められた特産品の布です。素材は苧麻（ちよま）と考えられ、非常にきめ細かい上質なものだったので、望陀という地名をつけて、天皇の皇位継承に伴う大嘗祭式場の帷や遣唐使の貢物等、特別な使い方をされました。

袖ヶ浦とヤマトタケル伝説

ヤマトタケルノミコトの東征の折、走水の海（東京湾）を渡る途中で大時化に遭い、海神の怒りを鎮めるために妃のオトタチバナヒメは海に身を投げました。東京湾の東岸には、その時の妃の袖が流れ着いたという伝説が各地に残されており、袖ヶ浦の地名もこれに由来します。また三黒の吾妻神社には、妃の亡骸が葬られたという伝説があり、三黒の地名も骸（むくろ）に由来します。



鎌倉時代～戦国時代

鎌倉街道、城跡 つわものどもが夢のあと

下新田から川原井を通り市原市立野に向かう道は、古くから鎌倉街道と呼ばれ、周辺は源頼朝の伝説で彩られています。戦国時代の袖ヶ浦は真里谷武田氏の支配を受けた後、安房の里見氏と相模の北条氏の勢力がぶつかる最前線となっており、蔵波城・久保田城をはじめ多くの城跡が残っています。

江戸時代

房総往還 奈良輪の宿でひと休み

房総往還は、海に沿って江戸と房州を結ぶ主要道路です。この街道を通って、水戸光圀や安藤広重をはじめ、多くの著名人や文人が袖ヶ浦の地を訪れました。奈良輪は房総往還の宿場で、幕末には江戸湾の防備にあたった大名一行が奈良輪の宿を休憩等に利用しており、当時の名主の家には「会津中将様御小休」といった宿札が残されています。



江戸時代の旅装束

明治時代～昭和時代

農業と漁業のまちを経て
工業と緑の豊かさが共存するまちへ

袖ケ浦は古くから農業が盛んですが、農業用水をめぐる水争いが絶えませんでした。明治時代以降は「上総掘り」など新しい技術を取り入れて、この問題の解決に取り組みました。また海では二枚貝や海苔養殖が行われ、戦後には日本でも有数の漁場へ発展します。その後工業化のための埋め立てにより漁業は終わりを迎え、京葉工業地帯の一翼を担う存在として発展を遂げました。



明治時代

優れた井戸掘りの技術「上総掘り」誕生

上総掘りとは、明治時代に袖ケ浦を流域に含む小櫃川周辺で生まれた井戸掘りの技術です。身近にある竹をばねなどに使うことで、少ない人数で約180m(100間)を超える井戸を掘ることができました。もともと西上総の中でも、川から田んぼへ水を引くことができない場所で発達した技術でしたが、後に天然ガスや石油、温泉の採掘など幅広い分野で活用されました。近年は、水不足に苦しむアフリカや東南アジアからも注目されています。



海苔採りする様子

大正時代～昭和時代前期

鉄道路線が開通 袖ケ浦の玄関口「榑葉駅」「長浦駅」が開業

大正時代に入ると、袖ケ浦に鉄道が開通します。大正元年に姉崎駅―木更津駅間が開通し、榑葉駅(現在の袖ケ浦駅)が開業しました。戦後の昭和22年には長浦駅が開業しています。またこのころ、潮干狩りや簀立て遊びといった海のレジャーを求めて、東京方面から多くの観光客が訪れました。



長浦駅 昭和30(1955年)年代前半



榑葉駅

昭和時代中期～昭和時代後期

臨海部が埋め立てられ、「京葉工業地帯」を開発

戦後の食糧難の解決のため、袖ケ浦でも農地拡大を目的に干拓が計画されます。昭和30年代から干拓が始まりますが、後に工業用地確保のための埋め立てに切り替わります。昭和50年代前半には、石油化学工業を中心とした工業地帯が完成しました。現在、臨海部には、電力・ガス・石油のエネルギー関連企業群が立地しています。

町村合併を経て「袖ケ浦町」へ

昭和は、町村の合併が進みました。昭和30年には昭和町と長浦村、根形村が合併して袖ケ浦町が誕生したほか、平岡村、中川村、富岡村の3つの村が合併して平川町が生まれました。そして昭和46年には平川町が袖ケ浦町と合併します。京葉工業地帯の発展とともに人口は増え、公共施設などが充実したまちへと発展していきました。



簀立て遊び

1991年～2000年

袖ケ浦市が誕生、交通基盤が次々と完成
アクセスの良い住宅地・観光地として注目を集める

臨海部に工業地帯ができ、人口の流入が続くと、1991年に市制が施行され、袖ケ浦市が誕生しました。市制初期は、首都圏との交通が整備された時期です。1995年に館山自動車道・姉崎袖ケ浦インターチェンジが開通します。これにより、千葉方面からの交通の便が良くなり、さらに、1997年には東京湾アクアラインが開通し、袖ケ浦インターチェンジ、袖ケ浦バスターミナルが完成。東京や横浜とのアクセス時間が大幅に短縮され、快適な通勤圏内になったことで都心のベッドタウンとしての可能性が注目され始めます。2000年には、「調べる学習コンクール」がスタート。「子育て・教育のまち」としての基礎ができたのもこの頃でした。

1991年 袖ケ浦市誕生



1992年 百目木公園プールオープン



1997年 東京湾アクアライン開通、
袖ケ浦バスターミナル稼働



1997年 長浦おかのうえ図書館
開館

2000年 第1回袖ケ浦市
調べる学習コンクール開催

2001年～2010年

観光スポットや市民施設が充実
にぎわいのある暮らしやすいまちへ

市制10年目の時期には、市内に観光施設や市民のための施設がさらに充実します。2001年には、姉崎袖ヶ浦インターチェンジの近くに東京ドイツ村が開業し、一大観光スポットが誕生しました。2004年には風光明媚な景色を楽しめる袖ヶ浦海浜公園が開園します。いずれの施設も、夏のフェス、冬のイルミネーションなどで市外から多くの観光客を招く施設へと成長しています。市民に向けては、健康づくり支援センター（ガウランド）やゆりの里がオープンし、袖ヶ浦市民ふれあい夏まつりがスタートしています。また、2004年には交通の便の良さを生かし、袖ヶ浦椎の森工業団地の分譲が開始。臨海部の工業地帯以外にも産業の拠点ができ、働き手の流入もさらに進みました。

2001年 市制施行10周年記念イベント
Leap city Gaura 10開催



2004年 袖ヶ浦海浜公園開園



2004年 袖ヶ浦椎の森工業団地
（1期分）の分譲開始

2007年 袖ヶ浦市農畜産物直売所
「ゆりの里」オープン



2001年 東京ドイツ村開業



2004年 健康づくり支援センター
（ガウランド）開園



2011年～2021年

駅前の開発が進み、新しいベッドタウンとして注目
人口6万5000人を突破

市内のにぎわいが充実すると、その魅力を外に向かってアピールするようなイベントが始まりました。市制20年目には、ご当地グルメを作ろうと袖-1グランプリが実施され、ホワイトガウラーメンが選出されました。2021年にはちばアクアラインマラソンがスタート。市内の主要部を駆け抜けるコースが話題になりました。また、この時期には、袖ヶ浦駅、長浦駅の新駅舎が完成。袖ヶ浦駅海側地区の土地区画整理で、新しい分譲住宅地やショッピングモールの開発が進展。2019年には、ゆりまち袖ヶ浦駅前モールが開業します。都心への通勤時間が1時間以内で駅前に住める魅力に惹かれ、人口が流入。市制30周年となる2021年には、ついに人口が6万5000人を突破しました。

2014年 そでがうらこども館開園



2019年 ゆりまち袖ヶ浦駅前モール
開業



2015年 長浦駅・袖ヶ浦駅の新駅舎が完成



2020年 千葉鴨川線
高谷バイパス開通

2021年 人口6万5千人
突破



2012年 ちばアクアライン
マラソンが始まる



袖ヶ浦市市制施行30周年

SODEGAURA CITY 30th ANNIVERSARY

袖ヶ浦市は2021年4月、市制施行30周年を迎えました
人間でいえば30歳という、まだまだ若いこれからのまち

このまちの30年先を みんなで創造しよう



市民協働事業 みんなの里まつり



子ども宇宙プロジェクト



イルミネーション昭和



気志園万博ロゴデザインマンホール



30周年記念事業市民実行委員会プロジェクトチーム

現在整備を進めています

都市計画道路高須賀和田線建設事業(南袖延伸)

袖ヶ浦駅海側土地地区画整理地と南袖地区を結ぶ新しい道路(橋梁)をつくっています

袖ヶ浦駅海側土地地区画整理地と南袖地区を結ぶ都市計画道路高須賀和田線を整備しており、広域的なネットワークを構成する道路として、交通利便性の向上が期待されています。



袖ヶ浦市庁舎整備事業

災害に強い新庁舎の整備を進めています

本市庁舎は、現行の耐震基準を満たしておらず、老朽化も進行していることから、大地震により大きく損傷する恐れがあります。災害対策の拠点となる庁舎の安全性と防災機能の強化に併せ、市民に開かれた庁舎を実現するため、「安全・安心な庁舎」、「使いやすく市民に開かれた庁舎」、「環境にやさしい庁舎」を整備方針として、1期棟及び2期棟の新築、既存棟の耐震補強及び大規模改修を実施しています。1期棟は、地震直後から事務の継続を可能とする免震構造とし、災害対策室を配置することで、防災拠点として、防災機能の強化を図ります。2期棟は市民団体などが活用できる市民交流スペースや市民協働会議室を配置し、市民協働ゾーンとして整備します。



◀ 現庁舎

▲ 完成イメージ図(令和6年9月竣工予定)

市議会のまちづくり宣言



新たなまちづくりで、子ども達に明るい未来を!

市議会と市長は、お互い独立した立場から協力し合い、市民生活に密接な関わりを持つ予算・条例などを決定し、市民生活向上に努めています。袖ヶ浦市は、羽田空港や東京都心へのアクセスも良く、高速インターチェンジを有するなど交通の利便性に優れるとともに、季節を感じる豊かな自然に囲まれた住み良いまちです。コロナ禍をきっかけに働き方や生活が変わるなか、リモートワークが進み都心から本市へ移住を希望する人が増加しており、更なる発展が期待されています。そんな今だからこそ、市民・企業・行政がそれぞれの立場を活かした協働での新たなまちづくりが必要です。袖ヶ浦の未来を担う子どもたちのためにも、魅力ある住み続けたいまちを目指し、土地利用の規制緩和や、企業誘致など、国・県との連携も重要です。市議会としても、積極的に働きかけを行い、袖ヶ浦市の発展を加速させてまいります。ともに、子ども達に明るい未来を届けましょう!



佐藤 麗子 議長

市議会は、選挙で選ばれた22人の議員により、構成されています。

市政の方針を決めるほか、予算・条例などを審査し、市民の意見を十分に反映させながら、袖ヶ浦市の未来に関わる進路を決定しています。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回行われ、必要に応じて臨時会も開催されます。議長を除く議員は、総務企画、文教福祉、建設経済の3つの常任委員会のいずれかに属し、それぞれの分野で所管部門の事務に関する調査、付託された議案や市民から寄せられた請願、陳情などの審査を行っています。また、年4回、「議会だより」を発行するほか、本会議の録画映像をホームページで公開しています。



Building a bright future for our children through new community development!

From their respective independent standpoints, the city assembly and the mayor work together to make citizens' lives better by making decisions on the budget and on ordinances closely linked to civic life. Not only does Sodegaura have outstanding transport convenience in the shape of good access to Haneda Airport and central Tokyo and some expressway interchanges, but it is also a pleasant city to live surrounded by abundant and seasonally diverse nature. As working and living styles change in the midst of the COVID-19 pandemic, remote work is progressing and more people are expressing a desire to move from Tokyo to Sodegaura, fueling expectations of further growth. That is why, now above all, we need to pursue new community development based on the concerted efforts of citizens, companies and local government each actively playing their roles. It is important to relax regulations on land use and attract corporations to build an agreeable city where people want to continue living, in cooperation with the national government and the Chiba prefecture for our children, who will inherit Sodegaura. The city assembly is also committed to actively working for the accelerated development of Sodegaura City. Together, let's create a bright future for our children!

Reiko Sato The Chair of the City Assembly



そでがうら アンバサダー

Sodegaura
Ambassador

袖ケ浦市の魅力を、住む人や働く人がアンバサダーとして紹介しているWebサイトです。「働く」「暮らし」「子育て・教育」のそれぞれの良さをクローズアップ。袖ケ浦市で生活している人のリアルな声をぜひチェックしてみてください。

Sodegaura Ambassadors

On this website, people who live and work in Sodegaura introduce the city's appeal as ambassadors. The site looks closely at the city's qualities in the respective areas of "Working," "Living" and "Child Rearing and Education." Be sure to check out the real voices of people who live in Sodegaura.

働く

多様な働き方が可能な袖ケ浦。企業に勤める人、起業した人、農業などを営む人に働くフィールドとしての魅力を聞きました。

暮らし

暮らしやすいまちとして注目を集める袖ケ浦。実際に住む人にどんなところが生活しやすいかを教わりました。

子育て・教育

子育て・教育環境が充実する袖ケ浦。充実した体制が整えられている理由や思いに迫ります。

働く



武井 雅義さん
武井製茶工場 6代目

袖ケ浦の名産品「お茶」を、全国に広めたい

袖ケ浦市は隠れたお茶の名産地です。温暖な気候は良質な茶葉が育つ環境といえます。茶畑は内陸部の丘陵地に約3ヘクタールあり、近くの工場で製造します。一番のこだわりは、ずばり味。ふくよかな甘みが出るように、煎茶からほうじ茶まですべて深蒸し製法で仕上げています。深蒸しは、手間がかかりますが、味で勝負。色鮮やかで濃い味わいになるように、有機肥料を使用しています。ペットボトルのお茶が出回っている時代だからこそ、本当においしいお茶を飲んでももらいたいですね。いま、一番の課題は若い世代のお茶離れです。そこで、若い世代にお茶を飲んでもらおうと作ったのが「和紅茶」です。市内の菓子店とコラボしたり、イベントを開き、力を入れています。まだ袖ケ浦でお茶を作っていることを知らない市民もいます。対面販売でお客様とコミュニケーションを図り、もっと袖ケ浦のお茶を広めていきたいです。



暮らし



三浦 邦夫さん
神納花の15会 会長



袖ケ浦のフラワーラインを 新たな花の名所に

神納花の15会は、広域農道沿いに花の植栽活動を行っている団体です。定年退職した世代の方を中心に80代から20代まで幅広い会員がいます。会の特徴の一つは、当初から地元袖ケ浦高校の生徒と一緒に活動を行ってきたこと。現在も、種まきや除草など、ほぼすべての作業で学生が協力してくれています。生徒は、ボランティア部、野球部、サッカー部、バスケットボール部、生徒会などさまざま。会員の高齢化も進んでいるので本当に助かりますし、若者たちとの交流は会員のやりがいにもつながっていますね。春はポピーや菜の花、秋はコスモスを中心に花の植栽を行っています。とくにコスモスが咲き誇る秋には、写真を撮りに来てくれる方も多く、毎年楽しみにしています」などの応援は活動の励みになります。いずれは、広域農道がフラワーラインの愛称のとおり、花の名所として有名になれば嬉しいですね。



子育て・教育

中根 麻由美さん
田中 直子さん
三好 祥子さん(左から)
NPO法人子ども一歩袖ケ浦



設立30周年 親子で楽しめる文化・芸術・遊び体験や 居場所づくりで子育てを応援したい

子ども一歩袖ケ浦は、前身の「袖ケ浦おやこ劇場をつくろう会」から数えて、2021年に設立30周年を迎えました。現在の会員は親子合わせて約90名。賛助会員やボランティア会員を含めると約140名となります。活動としては、観劇などの文化体験、未就園児を対象とした親子の交流の場「ぴっぴ」や、例年多くの親子連れが訪れる「子ども一歩まつり」など、親子の居場所づくりで子育てを応援しています。私たち自身が子育てに苦労してきた経験があったので、今の子育てを少しでも応援したいという気持ちが活動の根っこにあるんです。最近では、設立当初のおやこ劇場に参加していたお子さんが、お母さんになって自分の子どもを連れて遊びに来てくれたこともありました。いつの時代も生の体験や親子同士の交流を求める気持ちは変わらないはず。親から子へ受け継がれる「る一歩」。これからも活動を続けていきたいと思います。





坂戸神社と坂戸神社の森

坂戸神社はさまざまな伝説に彩られた古社で、境内には市内で最も古い時期の前方後円墳・坂戸神社古墳があります。社叢は坂戸神社の森として、県の天然記念物に指定されています。

■袖ヶ浦市坂戸市場1441



(昭和54年国土地理院撮影)

山野貝塚(国指定史跡)

縄文時代後・晩期(約4,000年～2,300年前)の貝塚。上から見ると馬のひづめの形をしていて東西約120mもの長さがあり、房総半島に現存する大型貝塚の中では最南部に位置しています。

■袖ヶ浦市飯富



飽富神社

平安時代に編纂された『延喜式神名帳』に記載された袖ヶ浦屈指の古社。正月の筒粥神事は県の無形民俗文化財、本殿と東照宮は市の有形文化財に指定されています。

■袖ヶ浦市飯富2863



袖ヶ浦市郷土博物館

袖ヶ浦公園の中にあり、市内で発掘された土器や古文書といった実物資料や、時代ごとのジオラマ等で袖ヶ浦についてトータルに学べます。

■袖ヶ浦市下新田1133



読書のまち袖ヶ浦

市内には中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館の3つの図書館と、根形、平岡の2つの公民館図書室があり、「読書のまち」袖ヶ浦を支えています。



中央図書館



長浦おかのうえ図書館



平川図書館



袖ヶ浦の 史跡・文化 スポーツスポット

袖ヶ浦は貝塚や古墳などの史跡が多く残るまち。歴史をたどるための施設もあります。また、いきいきとした暮らしを送るための文化やスポーツ施設も充実。そうしたスポットをご紹介します。

Sodegaura's Historical, Cultural and Sports Spots

Sodegaura has numerous historical sites such as shell mounds (kaizuka in Japanese) and ancient mounded tombs (kofun). There are also facilities where you can trace the city's history. The city also has a full range of cultural and sports facilities to help people lead vibrant lives. We introduce these spots.

●旧進藤家住宅

江戸時代末期に建築された蔵波村の上層農家の住宅です。西上総地方の伝統的な民家として市の文化財に指定されており、中も自由に見学できます。



●古代住居の広場・水のふる里

古代住居の広場は、博物館の建設用地(西ノ窪遺跡)で見つかった弥生時代と奈良時代の竪穴住居を復元しています。水のふる里には上総掘りの足場が立っています。



●万葉植物園

万葉集に詠まれた約160種類の植物のうち、約105種類が植えられた植物園。植物にはそれぞれ歌碑が設置されていて、万葉集の世界と植物の両方を楽しむことができます。



総合運動場

7レーンのトラックを持つ陸上競技場、両翼98mの野球場、4面のテニスコートなどが整備されています。野球やサッカーの試合など、多くのスポーツ大会が行われています。

■袖ヶ浦市坂戸市場1566



陸上競技場



市営野球場



テニスコート

臨海スポーツセンター

アリーナや柔道場、剣道場、トレーニングルームなどがある総合体育センター。アリーナではバスケットボールやバレーボール、卓球などたくさんの室内競技ができます。

■袖ヶ浦市長浦1-57



季節のおでかけカレンダー

袖ヶ浦には、花々を愛でる公園や旬の味を楽しめる体験農園などがたくさんあります。袖ヶ浦の四季を彩る花や味覚、各種イベントなどを紹介します。



Seasonal Excursion Calendar

Sodegaura has numerous parks for appreciating the beauty of flowers, and hands-on farms where you can enjoy seasonal flavors. We introduce the seasonal flowers, flavors, events and more that Sodegaura has to offer.

春
Spring

桜



花菖蒲



3月下旬～4月上旬

袖ヶ浦公園は約1000本の桜と菜の花を同時に楽しめます。百目木公園でも桜が楽しめます。

5月下旬～6月中旬

名所の袖ヶ浦公園では、1万5千株もの花が咲き、6月中旬には「花菖蒲まつり」が開催されます。

行事

- 袖ヶ浦公園まつり
- 花菖蒲まつり
- 鯉のぼりフェスティバル
- 百目木公園まつり



夏
Summer

ブルーベリー



ぶどう



6月中旬～8月下旬

小粒で甘酸っぱい果肉にアントシアニンたっぷり含み、体にいいことでも知られています。

8月中旬～9月下旬

房総では珍しいぶどう狩りが楽しめます。巨峰をはじめ10種類以上が栽培され、直売もあります。

行事

- 袖ヶ浦市民ふれあい夏まつり
- わんぱくクエスト
- 鮎富神社神納神楽ばやし



秋
Autumn

いちじく



落花生



8月下旬～10月下旬

やさしい甘さとプチプチした食感が魅力。ジャムなどにも加工されています。

9月下旬～10月下旬

袖ヶ浦は落花生の生産が盛んです。東京ドイツ村などでは収穫体験が楽しめます。

行事

- 公民館まつり
- 市民音楽フェスティバル
- ゆりの里新米まつり
- 率土神社神納神楽ばやし



冬
Winter

イルミネーション



いちご



10月末～3月

東京ドイツ村のウィンターイルミネーションが人気です。毎年美しく輝く光景が見渡せます。

1月上旬～5月上旬

袖ヶ浦で一番長い期間、収穫体験ができます。寒い時期もハウス内でいちご狩りが楽しめます。

行事

- 新春マラソン
- 鮎富神社「筒粥」
- 八幡神社「湯立ての神事」



Introducing Sodegaura's Most Recommended Spots and Specialties!

We introduce the most recommended tourist spots selected from the city's many attractive locations.

とにかく広くて気持ちいい!!

東京ドイツ村

ドイツの田園風景をイメージした広大な敷地(東京ドーム19個分!)に、観覧車、芝ソーグレンデ、こども動物園、バターゴルフ場、釣り堀、ドッグランなど、家族で楽しめる施設がいっぱい。芝桜やコスモスなど四季折々に咲き誇る花々や季節を感じる様々な味覚狩り、冬のイルミネーションも人気です。



収穫カレンダー

味覚の宝箱 体験農園で旬の味を楽しもう!



市内の体験農園の情報です	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			いちご				ブルーベリー		いちじく			
						じゃがいも			ぶどう		みかん	
									さつまいも			
									らっかせい			

※農作物の種類は年により異なる場合がございます。また天候により収穫時期が異なることがあります。

四季折々の花を愛でるスポット!!

袖ヶ浦公園

毎年6月中旬には1万5千株もの花菖蒲が咲き誇り、多くの来園者を楽しませています。2月には梅、4月には桜や菜の花、マリーゴールド、6月にはあじさいなど、四季を通じて花々が楽しめるのが魅力です。冬には野鳥も飛来し、バードウォッチングスポットとしても楽しめます。



花カレンダー	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		パンジー				すいれん						
		梅	桜			ゆり						
			菜の花			花菖蒲			コスモス			
	水仙			マリーゴールド		あじさい	日々草					
	葉ぼたん					サルビア			菊		葉ぼたん	

袖ヶ浦のイチ押しスポット、特産品をご紹介します!

市内の数々の魅力的なスポットから、特におすすめの観光スポットをご紹介します。

地元の素材でつくったおいしい特産物!!

特産推奨品

袖ヶ浦市商工会と観光協会とで、3年に一度、市のお土産等にふさわしい商品として特産推奨品を認定しています。地元の食材で作られた魅力的なものばかりです。ゆりの里等で販売中です!ぜひ、おみやげにいかがですか?



第6回認定 特産推奨品

ご当地の新鮮野菜や畜産物、特産品を買うなら?

袖ヶ浦市農畜産物直売所「ゆりの里」

朝採れたばかりの野菜や、地元の新鮮な畜産物を手に入れるならここ。生産者が丹精込めて育てた袖ヶ浦産の野菜を手にとっていただける直売所です。季節ごとに「新茶まつり」「新米まつり」など、年間を通してイベントを開催しています。



FARM COURT 袖ヶ浦

袖ヶ浦市を中心に、全国の健康的で美味しい野菜、商品を販売する地域食材専門店です。産直の新鮮地元野菜や季節ごとに変わるカフェ、袖ヶ浦特産品ギフトなど、あらゆるシーンでお使いいただけます。



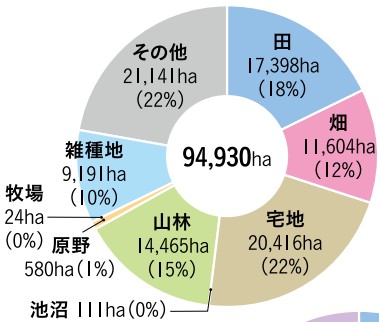
データで見る 袖ヶ浦

PROFILE (令和3年12月1日現在)
総人口:65,288人(男:33,067人 女:32,221人)
世帯数:28,646世帯
面積:94.92km² 海岸線:28.7km 周囲:84.5km
東経:139度57分27秒 北緯:35度25分36秒(市役所の位置)

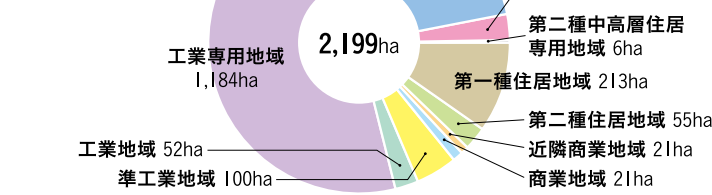


地 勢

■土地利用面積(平成31年 千葉県統計年鑑)

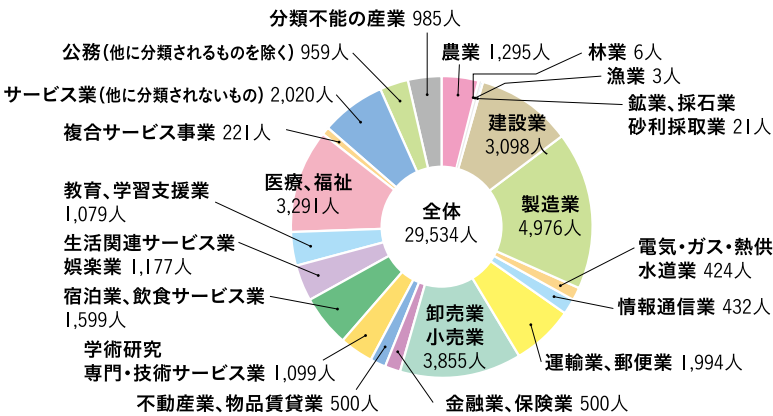


■市街化区域の内訳
(令和2年4月1日現在)



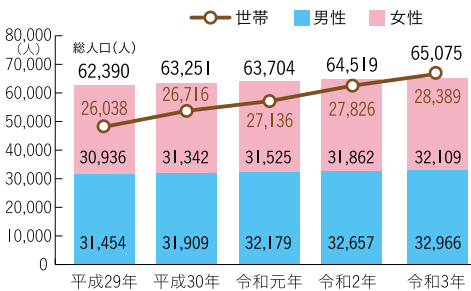
産 業

■産業別就業者数(平成27年国勢調査産業等基本集計[総務省統計局])

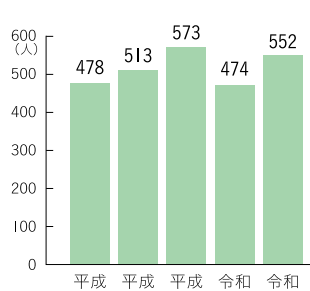


人 口

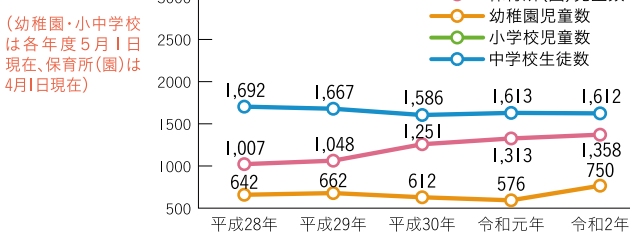
■人口と世帯の推移(各年4月1日 総人口)



■出生数(住民基本台帳 人口・世帯数表)



■児童等数の推移
(幼稚園・小中学校は各年度5月1日現在、保育所(園)は4月1日現在)



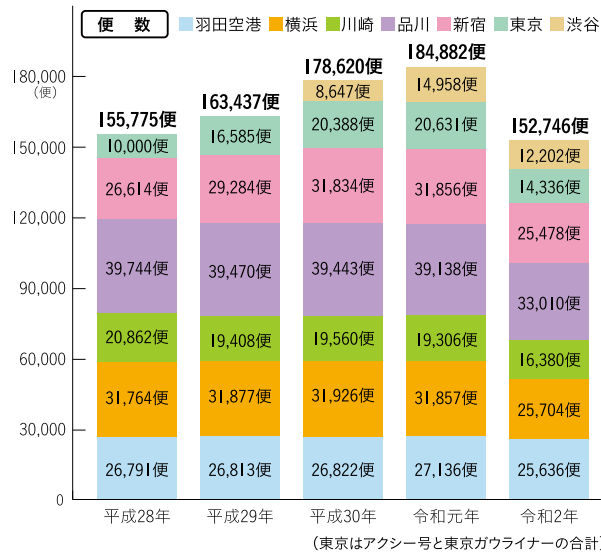
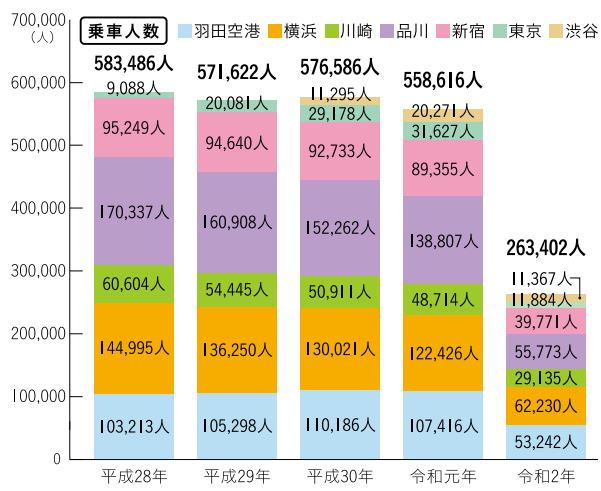
県内7位

県内の公共図書館の中で、人口1人当たりの個人貸出冊数が5.19冊で県内7位(令和2年度)

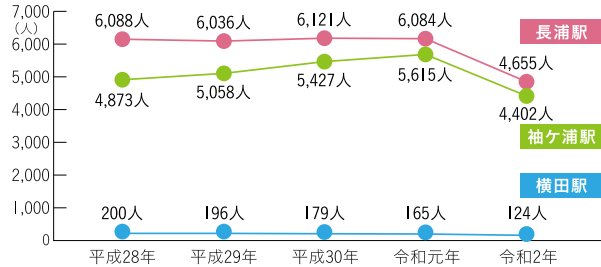
■図書館利用状況(令和2年度)

中央図書館	143,591冊
長浦おかのう図書館	143,433冊
平川図書館	26,322冊
根形公民館図書室	12,427冊
平岡公民館図書室	6,215冊
貸出合計	331,988冊
蔵書数	706,278冊

■高速バス利用状況の推移



■市内各駅の乗車人数の推移(1日平均)

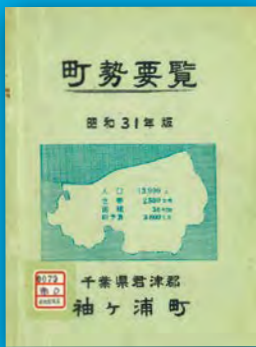


そでがうらの由来

君津郡袖ヶ浦町

昭和30年3月、昭和町・長浦村・根形村の3つの町村が合併する際、新町名を何にしようか協議した時に、中学生から色々な名前を募集したところ、袖ヶ浦としたという者が90%以上あったので、古史によっても語勢から言っても、由緒ある優に優しい良い町名だということで袖ヶ浦と呼ぶこととしました。

(昭和31年版袖ヶ浦町勢要覧より)



当時の人口:13,900人 世帯数:2,500世帯
町予算:3,800万円 ※工業地帯はまだ海です

袖ヶ浦市の「ケ」は
大きなケです!



袖ヶ浦市は、平成3年4月1日、全国で656番目・県下で29番目に市制を施行しました。君津郡袖ヶ浦町から袖ヶ浦市になり、大きい「ケ」を採用するようになりました。

養殖ノリのシェア **90%**以上

皆さんが食べているノリ、「ナラワサビノリ」かもしれません。現在、袖ヶ浦市でノリの養殖は行われていませんが、この品種は、かつてノリ養殖が盛だった奈良輪地区で、1964年に発見されたことから、この名がつけました。今では全国で養殖されているノリのほとんどが、「ナラワサビノリ」です。



発見！ 袖ヶ浦の魅力



魅力1

都内へのアクセスに便利なまち 羽田空港へ最短22分



アクアライン高速バスのネットワークが充実し、東京、新宿、渋谷、品川、羽田空港、横浜、川崎便が運航されており、非常に便利です。

魅力2

都会と自然が交わったまち みどりを感じながら、のんびりすごそう

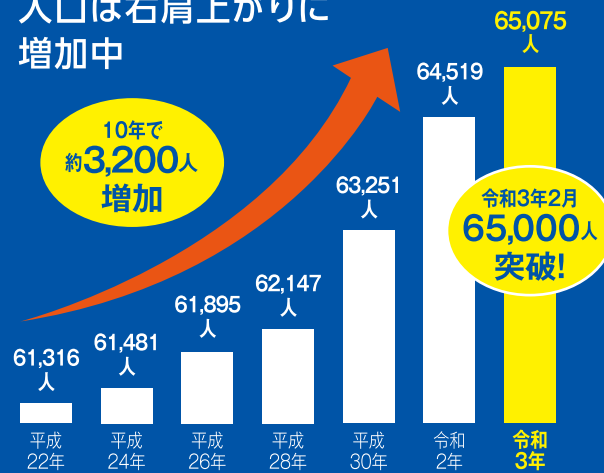


袖ヶ浦駅周辺では新たなまちづくりが進み、多くの子育て世代が新たな生活を始めています。一方、内陸部には田園風景が広がり、レジャーや味覚狩りが楽しめるなど豊かな自然が残されています。

魅力3

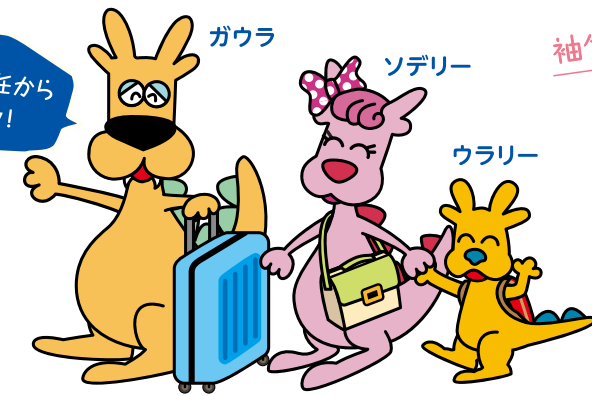
子育て世代に選ばれるまち

人口は右肩上がりに増加中



袖ヶ浦市の人口(住民基本台帳 各年4月1日時点)

袖ヶ浦市のマスコットキャラクター ガウラファミリー



身長:160cm / 体重:50kg
出身地:坂戸の森
外国の人が袖ヶ浦を発音すると“ガウラ”だけが強く聞こえることからその名がつけられました



さらに！

観光



豊かな自然の中に遊び・味覚狩りスポットがたくさん
レンタサイクルで市内周遊もできます。

レンタサイクルの予約はこちらから



袖ヶ浦ふれあい動物縁



東京ドイツ村



森のまきば オートキャンプ場

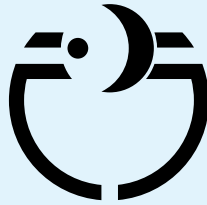
さらに！

グルメ / お土産



ご当地グルメ「ホワイトガウラーメン」のほか、地元の素材で造られたおいしい特産品が味わえます。





市章

市章は、袖ヶ浦市の「ソデ」の字をデザインしたものです。昭和31年当時の袖ヶ浦町内中学校全生徒から図案を募集し、昭和46年11月3日に制定しました。

袖ヶ浦市民憲章

美しい緑の山河と近代工業地帯を併せもつ、私たち袖ヶ浦市民は、豊かで平和な郷土をつくるために五つの目標をかかげて市民憲章といたします。

- 1 だれにも思いやりの心で接し 奉仕の心をもちましょう
- 1 受け継いだふるさとの心を愛し 新しい息吹きに満ちたまちにしましょう
- 1 光と緑の自然が調和した 美しい未来の産業都市にしましょう
- 1 老人を尊び 子どもに夢と希望をもたせるまちにしましょう
- 1 教養を高め 広い視野にたつて 美しい文化のまちにしましょう

(昭和52年10月1日制定)

袖ヶ浦市は房総半島の中ほどに位置し、東京湾に面しています。東京湾アクアラインを利用すれば都心へのアクセスも便利です。



市の花:ゆり
(ヤマユリ)



市の木:しい
(イタジイ・標準和名はスダジイ)



市の鳥:うぐいす
(昭和46年11月3日指定)

姉妹都市:イタジャイ市

国際交流の一環として、昭和54年にブラジルのイタジャイ市と姉妹都市の提携をしました。市と国際交流協会が中心となって交流活動を進めています。



袖ヶ浦市勢要覧2021

発行日:令和4年2月 発行:袖ヶ浦市
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1 電話:0438-62-2111
編集:企画政策部 秘書広報課 制作:福泉株式会社

